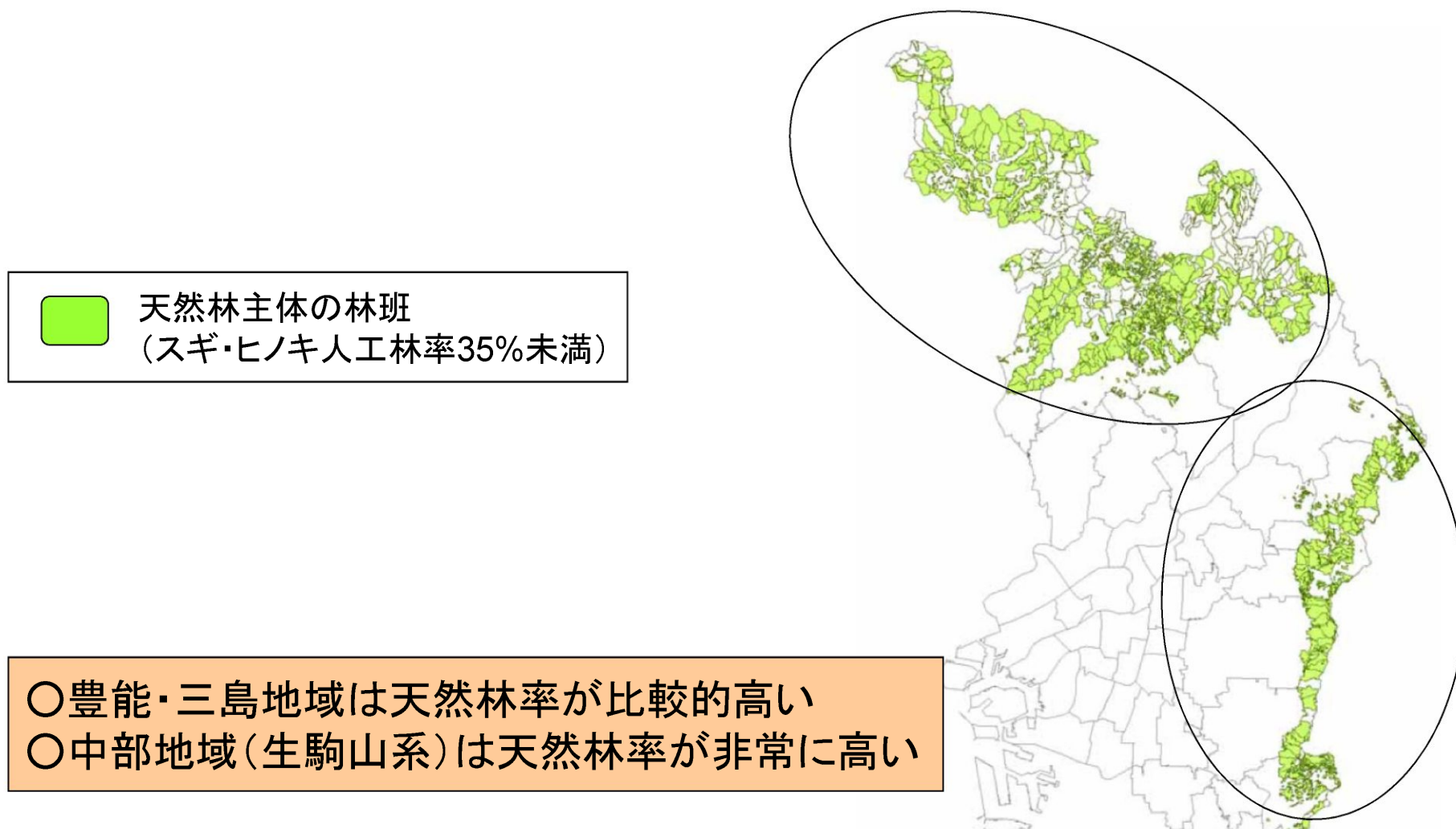



# ■天然林における現状と課題

## 1)天然林の状況

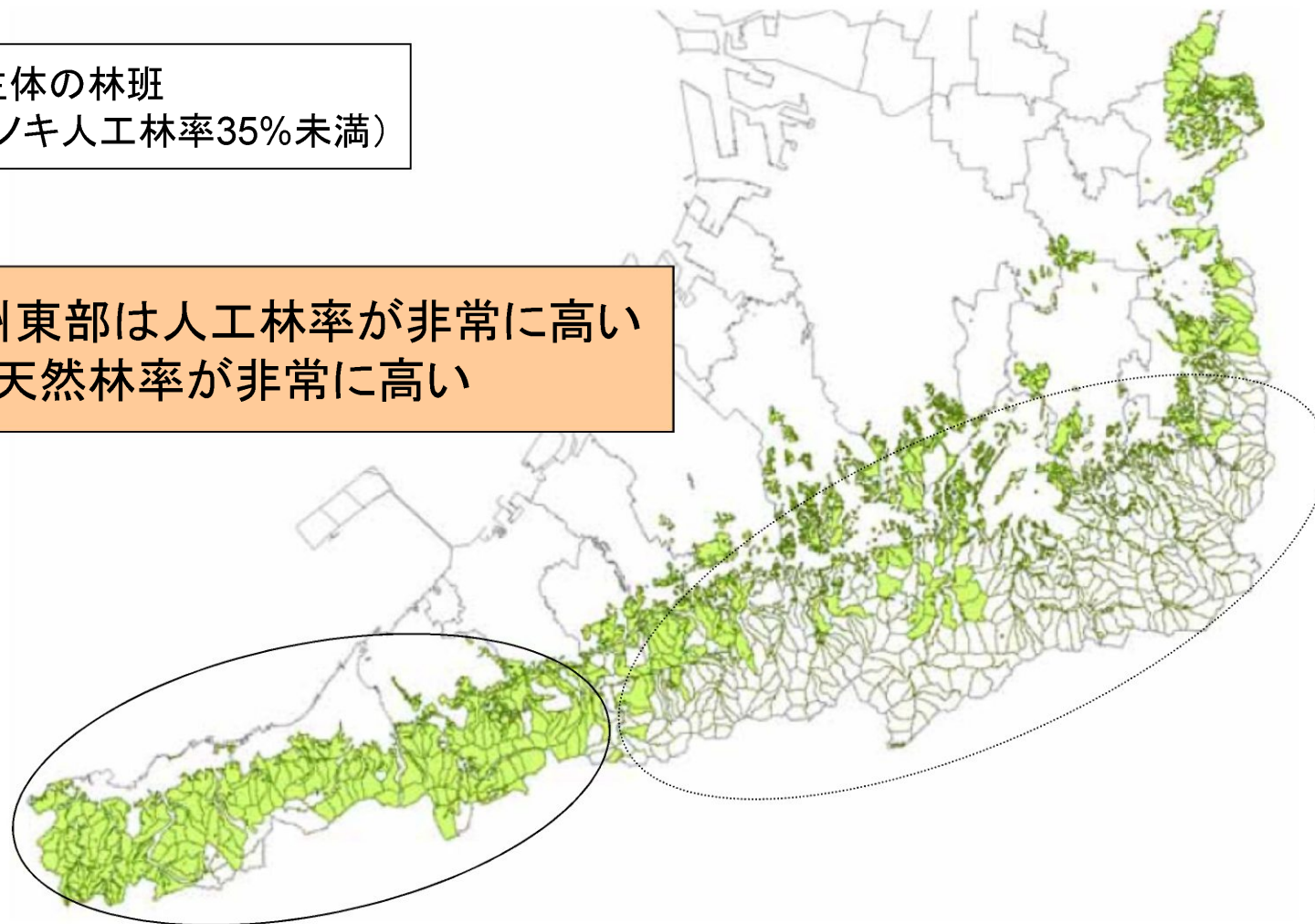
### ①-1 天然林が主体となる林班の配置状況【大阪北部】



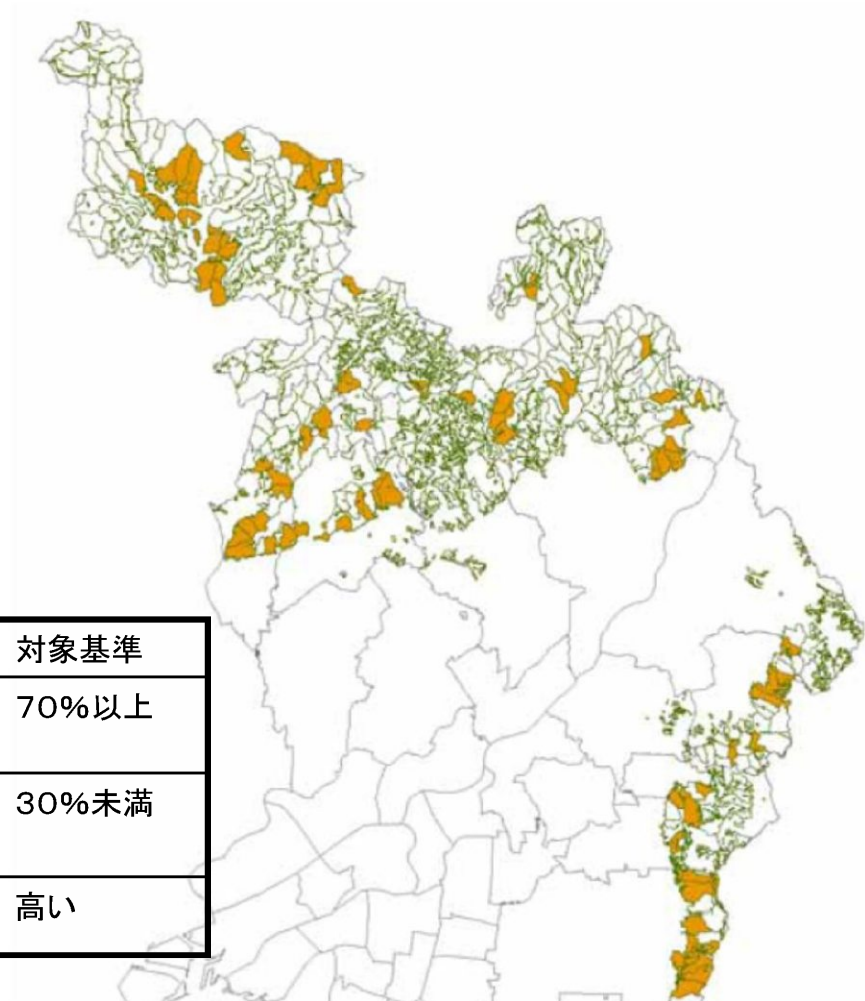
## ①ー2 天然林が主体となる林班の配置状況 【大阪南部】

 天然林主体の林班  
(スギ・ヒノキ人工林率35%未満)

- 南河内・泉州東部は人工林率が非常に高い
- 泉州西部は天然林率が非常に高い



## ②-1 防災面から重要度が高い天然林主体の林班の配置状況 【大阪北部】



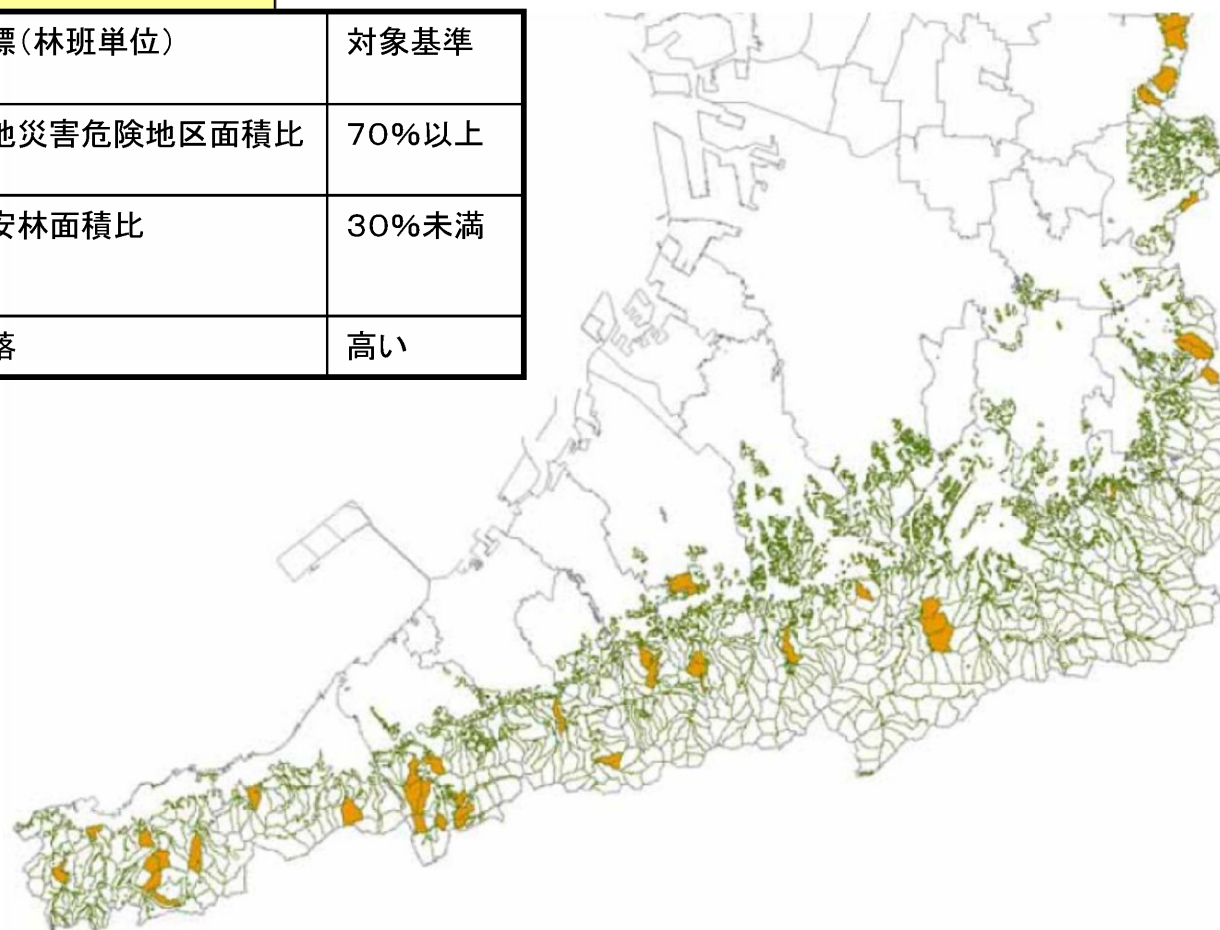
### 防災機能の重要性の高い林班の選定基準

	項目	指標(林班単位)	対象基準
①	防災上の必要性	山地災害危険地区面積比	70%以上
②	既存の公共事業による整備の可否	保安林面積比	30%未満
③	保全対象との近接性	集落	高い

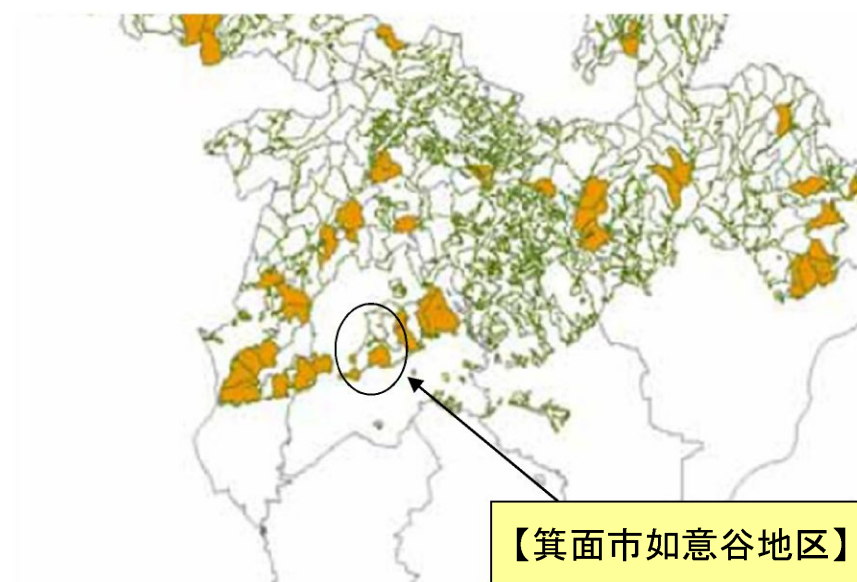
## ②-2 防災面から重要度が高い天然林主体の林班の配置状況 【大阪南部】

防災機能の重要性の高い林班の選定基準

	項目	指標(林班単位)	対象基準
①	防災上の必要性	山地災害危険地区面積比	70%以上
②	既存の公共事業による整備の可否	保安林面積比	30%未満
③	保全対象との近接性	集落	高い



### ③-1 防災面から重要度が高い天然林主体の林班の現況

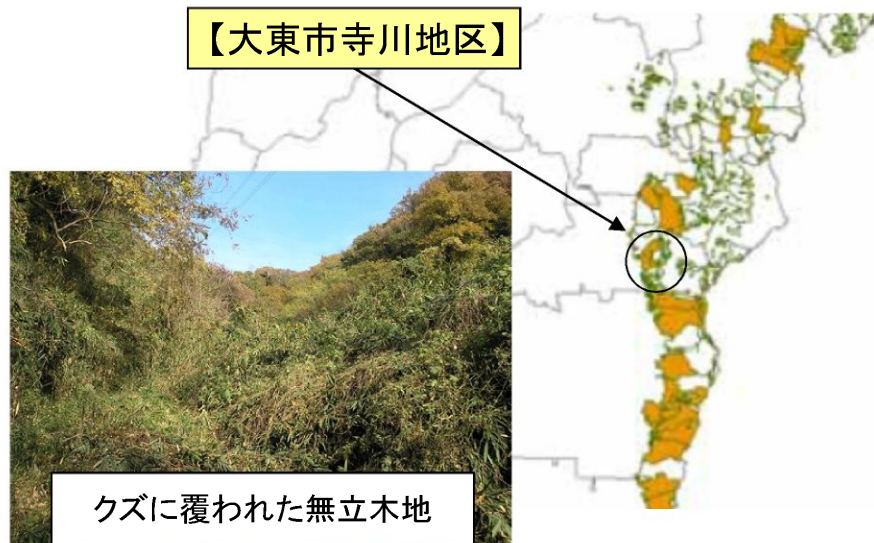


○竹の侵入で天然林が駆逐され荒廃化が進行している。



■土砂流出等による災害が懸念される。

### ③-2 防災面から重要度が高い天然林主体の林班の現況



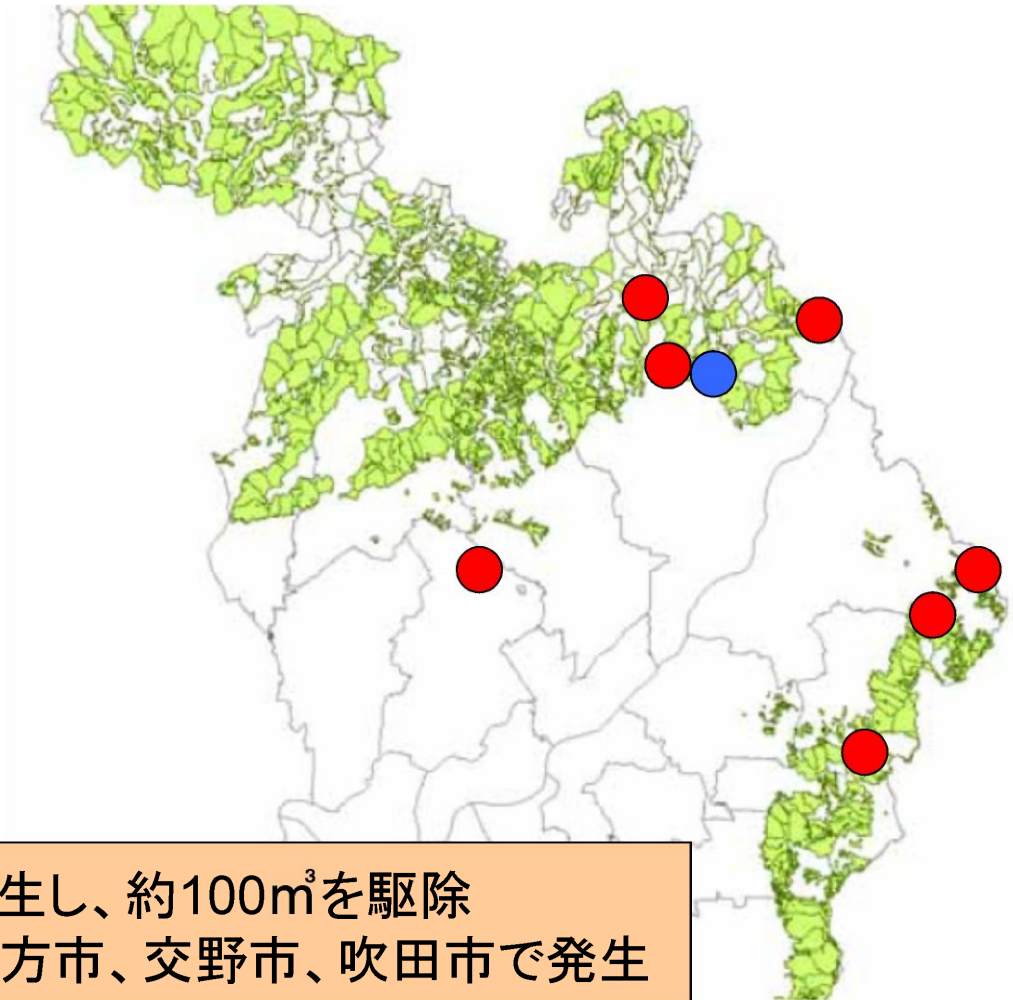
○ツルやササなどで部分的に無立木となっている個所が見られる。  
○竹の侵入により天然林が駆逐され荒廃化が進行している。



■人家・道路等と森林が接しており、土砂災害等の発生が懸念される。

#### ④-1 カシノナガキクイムシの被害発生状況

- 今年度の被害発生個所
- 昨年度の被害発生個所



- 昨年度は高槻市梶原地区で発生し、約100m<sup>3</sup>を駆除
- 今年度は、高槻市、島本町、枚方市、交野市、吹田市で発生

## ④-2 カシノナガキクイムシの被害状況



高槻市梶原地区



枚方市尊延寺地区



### 3) 天然林における課題

---

◎防災上の必要性の高い森林において無立木地の発生等荒廃が見られる

⇒森林調査と林況に応じた整備方針の確立が必要

◎カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の拡大が予測される

⇒予防となる天然林整備の推進が必要

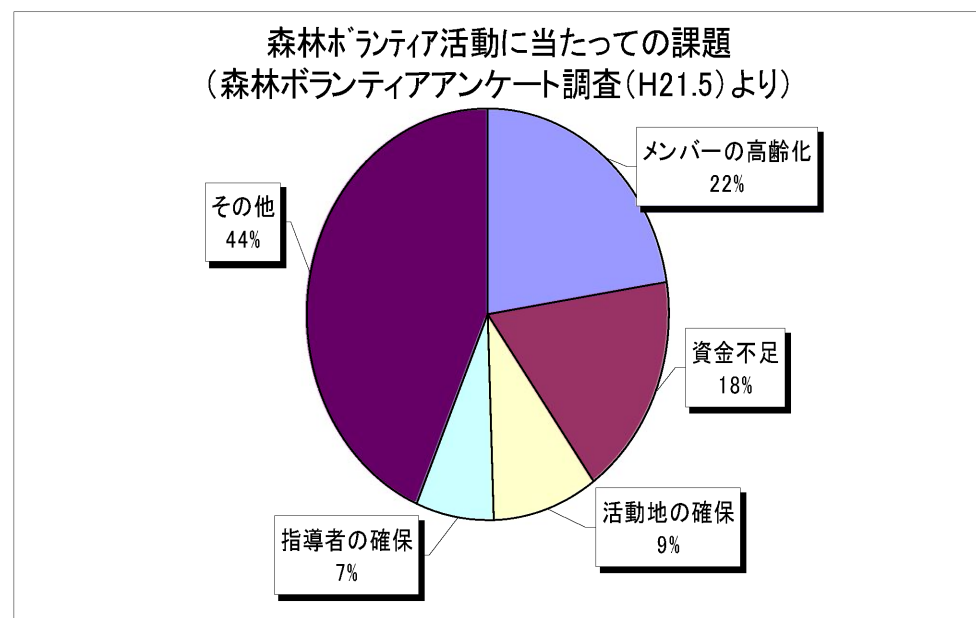
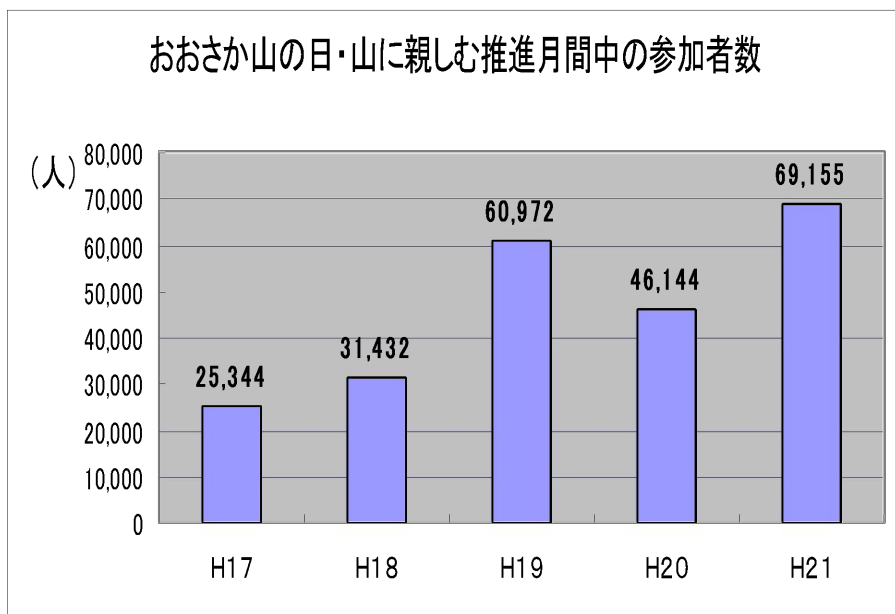
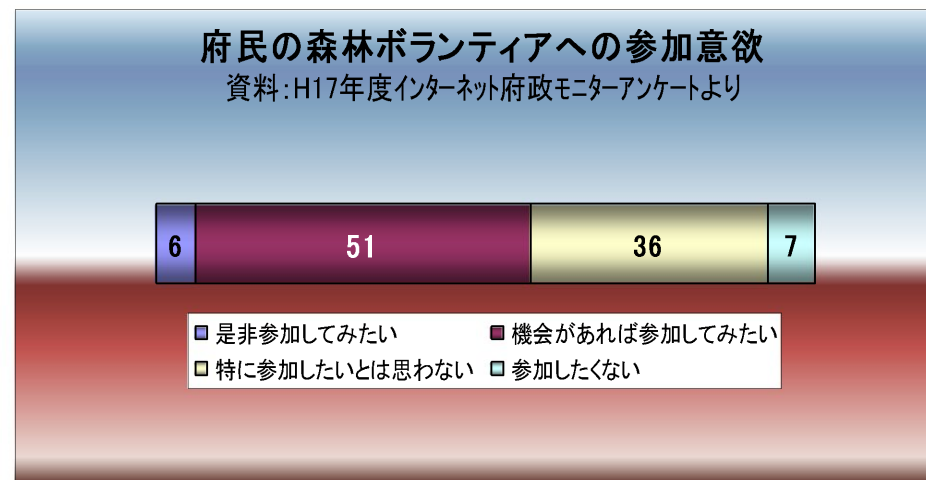
◎経済林としての価値がなく森林所有者による管理がなされていない

⇒緊急に対策が必要な天然林整備を第3者が行う仕組みが必要

⇒経済的価値を生む天然林整備が必要

# ■府民協働による取組みの現状と課題

## 1) 府民ボランティアによる取組みの現状と課題



## 現 状

- 近年、府民の森林ボランティアへの参加意欲は高まっている。
- ボランティア団体数は72団体、総会員数は7,500人(H21.5月時点)
- ボランティア自身は、活動に当たり、「会員の高齢化」「資金不足」「活動地の確保」「技術指導者の育成」が課題と捉えている。(H21.5月のアンケート調査による)



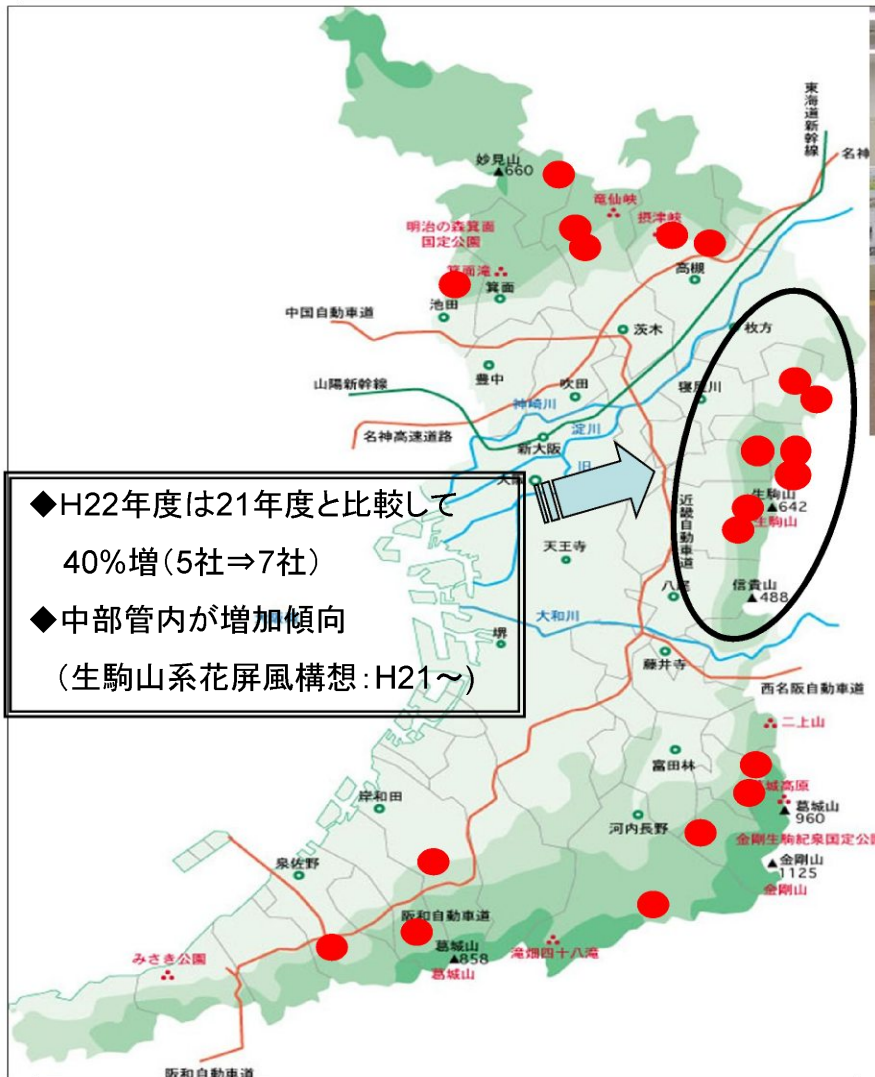
## 府の対策

- 「おおさか山の日(11月第2土曜)」「山に親しむ推進月間(11月)」の創設
  - 府民協働による森づくり活動として地域を生駒山地に特化した「生駒山系花屏風」を実施
- ⇒府民が森づくり活動に参加する契機となるような取り組みを展開

## 課 題

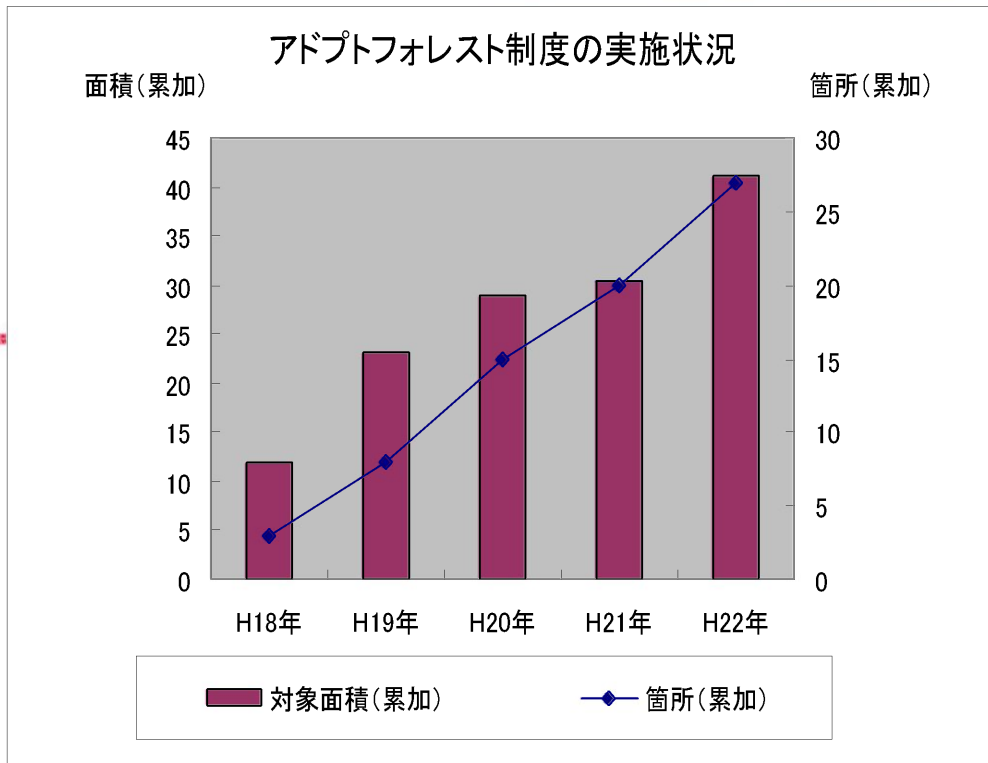
- ◎森林所有者の理解不足が、活動地確保の障壁となっている

## 2) 企業ボランティアによる取り組みの現状と課題



◆ H22年度は21年度と比較して  
40%増(5社⇒7社)  
◆ 中部管内が増加傾向  
(生駒山系花屏風構想: H21~)

■ 実施状況(平成22年12月1日現在)  
・活動地: 27箇所  
・参加企業数: 33社・団体



## 現 状

- 企業が森づくりを行う目的は「社のイメージ向上」、「社員の環境保全意識の向上」、「環境教育」など（※森づくり参加企業へのヒアリング結果による）
- 1企業当たりの平均活動面積は、1,2ha。（27箇所（41.1ha）・33団体）
- 活動地の内訳は、人工林11.7ha、竹林22.4ha、雑木林等7.0ha  
（うち、竹林から広葉樹林への転換（植栽）は17.0ha（41%））
- 活動地は、現場にアプローチし易く、トイレ・駐車場等の利便施設がある場所が好まれる。



## 府の対策

- 企業と森林所有者をマッチングする「アドプトフォレスト制度」を実施  
⇒地球温暖化対策として植林や間伐によるCO2吸収量を評価
- 府民協働による森づくり活動として地域を生駒山地に特化し、ヤマザクラ等の植栽を行っていく「生駒山系花屏風」を実施

## 課 題

- ◎ボランティアによる活動は竹林や広葉樹林への転換が中心